



2026年3月期
決算補足説明資料

2026年5月13日
株式会社 J-MAX

2026年3月期決算

1. 連結損益状況
2. 増減要因
3. セグメント業績
4. 設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュフローの状況
6. 財務状況

2027年3月期予想

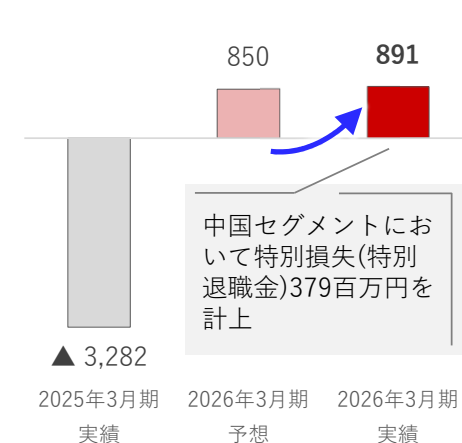
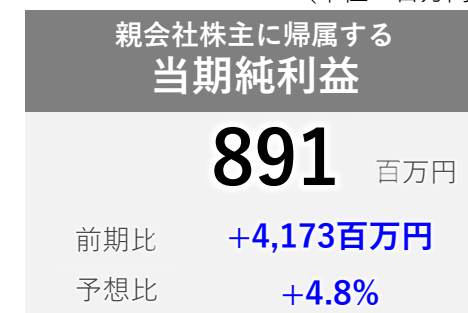
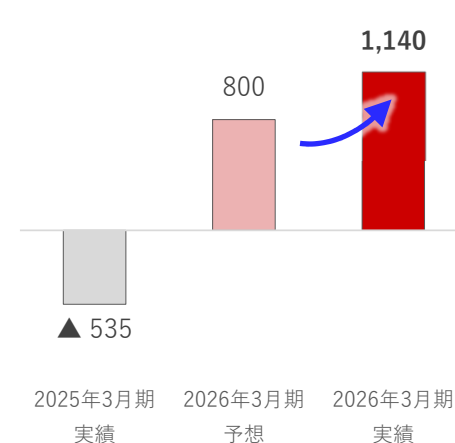
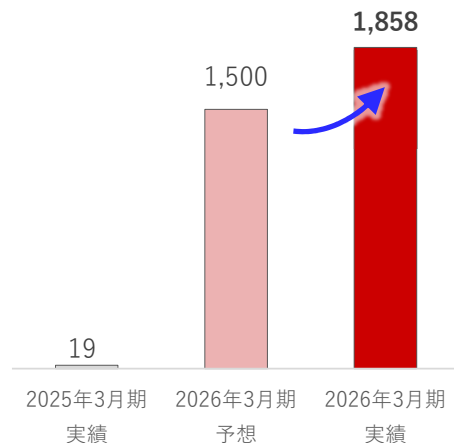
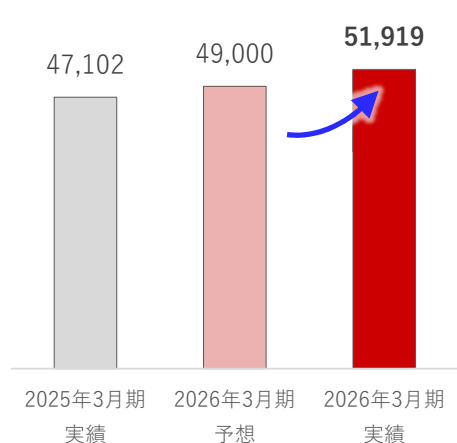
7. 通期連結業績予想

配当について



1.連結損益状況

(単位：百万円)

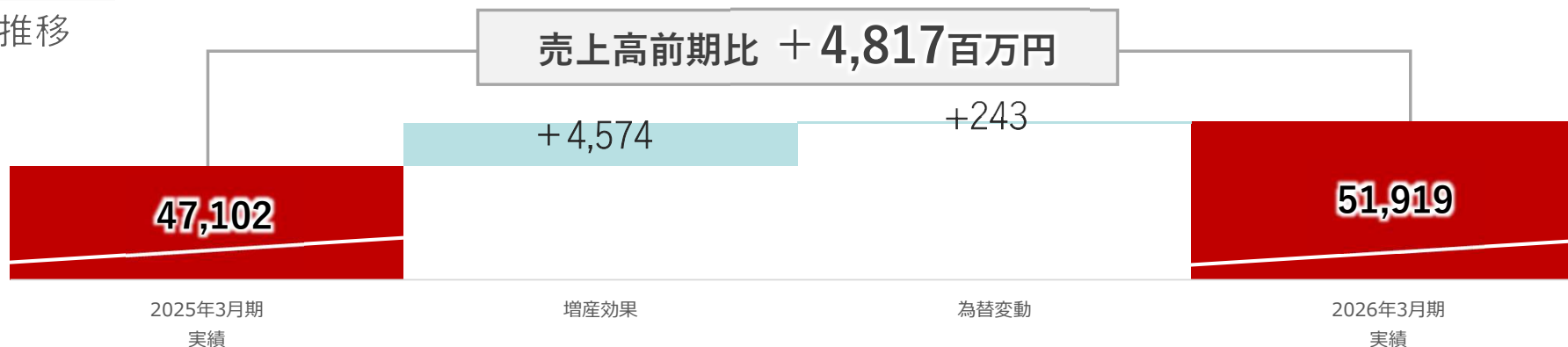


※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

為替レート	2025年3月期実績(円)	2026年3月期実績(円)	増減金額(円)	増減率(%)
タイバーツ	4.30	4.57	+0.27	+6.3%
人民元	21.01	20.93	▲0.08	▲0.4%

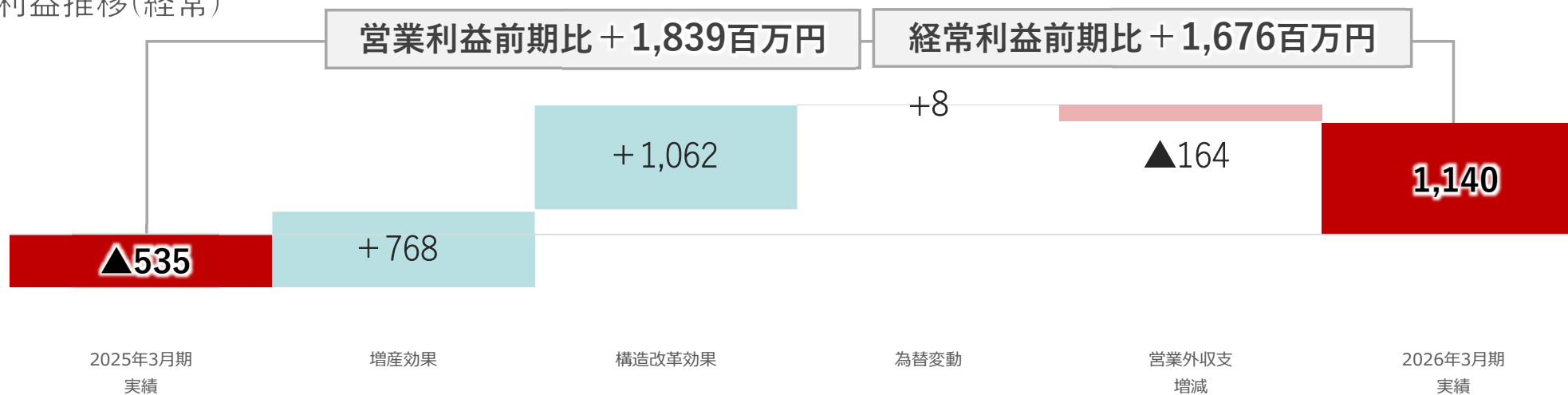
2.増減要因

◆ 売上推移



中国セグメントにおける電動化部品の増産影響により、増収。

◆ 利益推移(経常)



増産影響に加え、前期までに実施した構造改革の継続効果により増益。(黒字化)

3.セグメント業績(日本)

売上高

19,419

 百万円

前期比

+0.1%

営業利益

353

 百万円

前期比

▲25.2%

経常利益

600

 百万円

前期比

▲20.4%

一部の機種を除き、主要客先向け自動車部品の生産は減少するものの、**新機種立上げに伴う金型設備等の販売が増加したことにより、売上高は前年同期と同水準。**

岡山工場稼働に伴う一時的な変動費の増加等により営業利益、経常利益ともに減少。



岡山工場

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

3.セグメント業績(タイ)

売上高

5,965 百万円

前期比

▲3.1%

営業利益

180 百万円

前期比

+237.1%

経常利益

75 百万円

前期比

+168百万円

主要客先向け自動車部品の生産が国内及び輸出向けともに減少したことにより売上高は減少。

前期までに実施した要員適正化及び金型事業縮小等の構造改革の継続効果に加え、エネルギー価格高騰による製品売価の増加等により、営業利益、経常利益ともに増加。



タイ・マルジュン社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

3.セグメント業績(中国)

売上高

26,911 百万円

前期比 +22.3%

営業利益

1,229 百万円

前期比 +1,783百万円

※営業利益は広州、武漢、福建の単純合計

経常利益

724 百万円

前期比 +1,619百万円

主要客先である日系OEMの減産が依然として継続する中、**車載電池メーカー向け電動化部品が大幅に増産し、売上高は増加。**

増産影響に加え、前期までに実施した要員適正化及び固定資産の売却等の**構造改革の継続効果**により、**営業利益、経常利益ともに増加。**

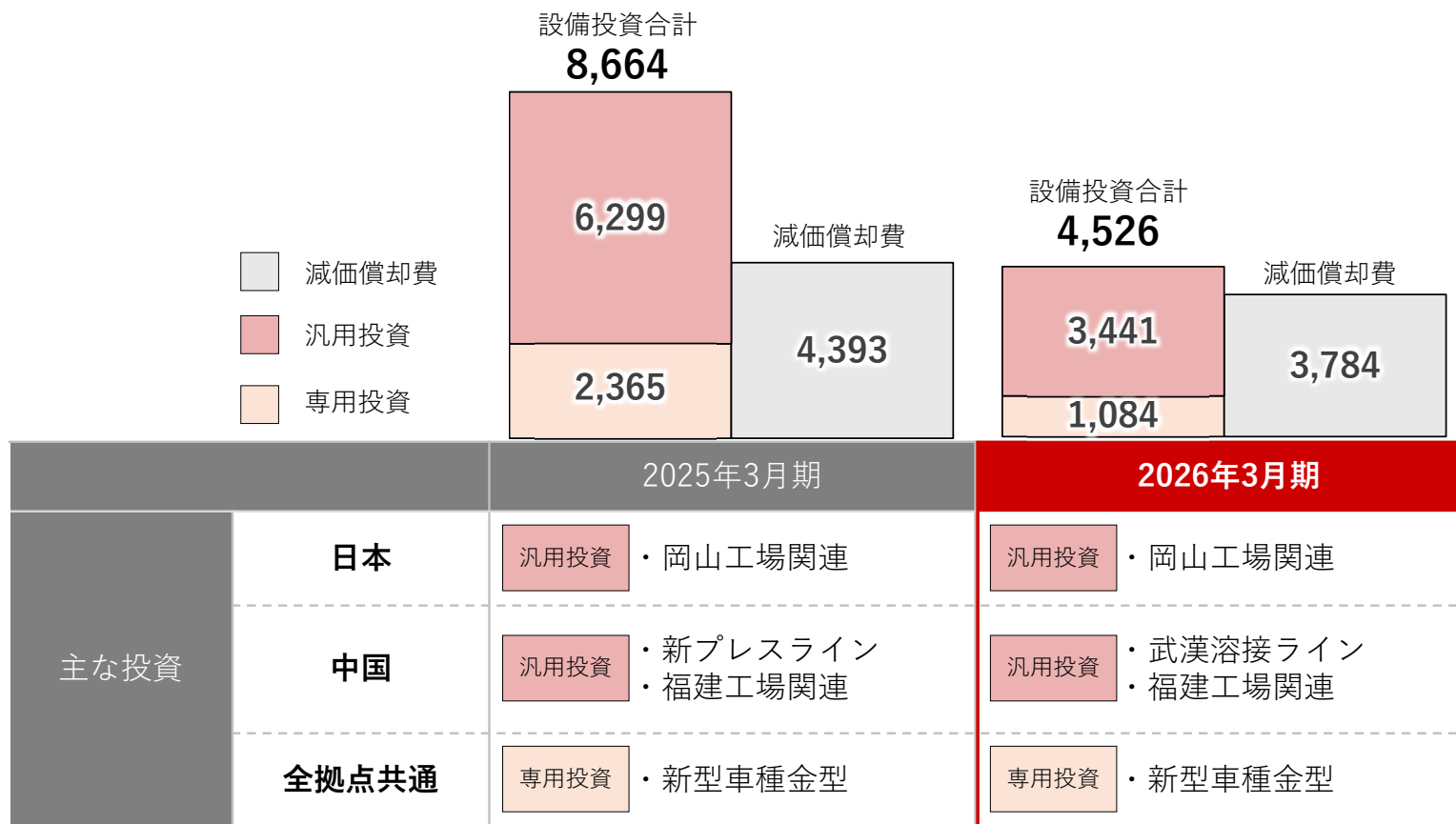


福建丸順社

※前期比・予想比は、当期・前期・予想のうち、該当する数値の両方がプラスの場合は増減率、当期・前期・予想のうち、該当する数値の一方若しくは両方がマイナスとなる場合は増減額で記載。

4.設備投資額、減価償却費

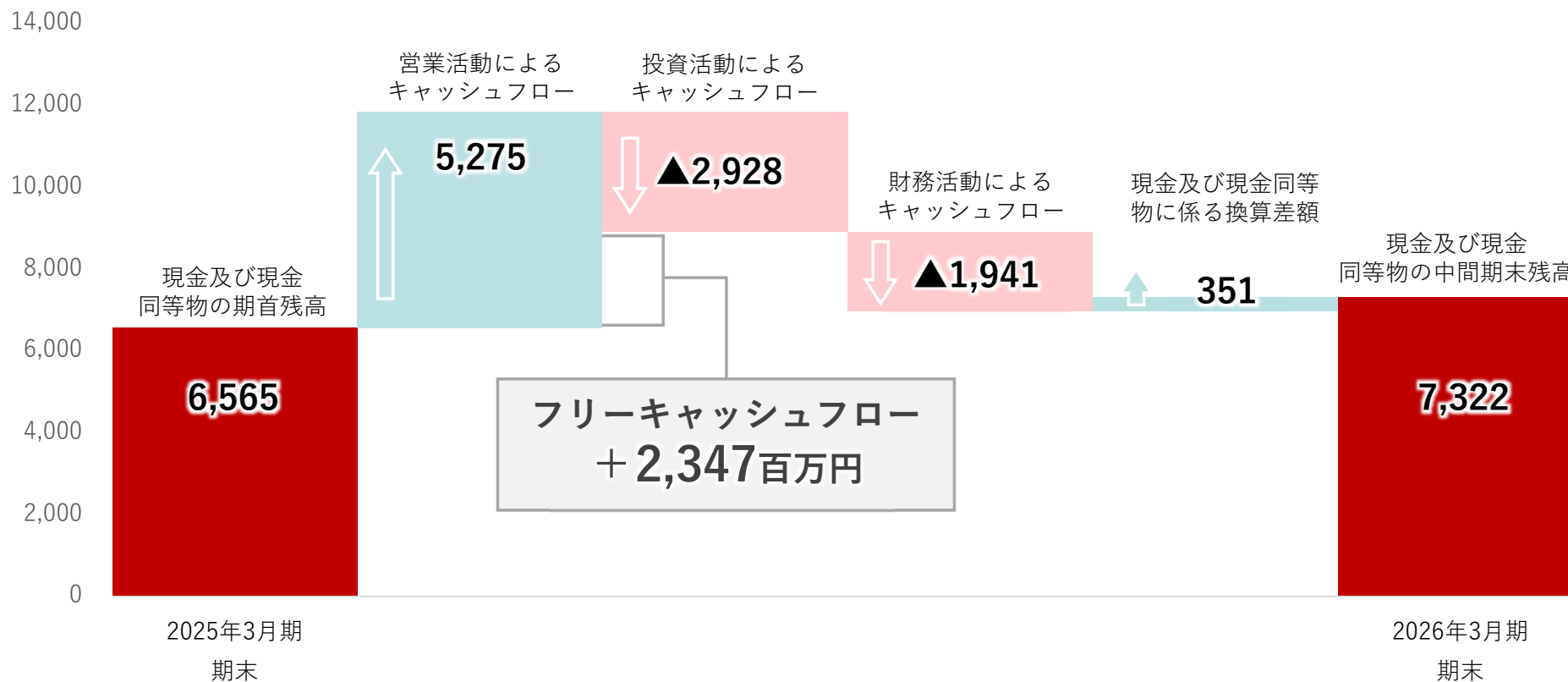
(単位：百万円)



日本は岡山工場関連、中国は電動化部品受注に伴う福建工場関連等の中長期的な成長投資を中心に推進。
 専用投資は、主要客先の開発機種減少により前期比減少。
 減価償却費は、構造改革(生産能力適正化)の継続効果により抑制。

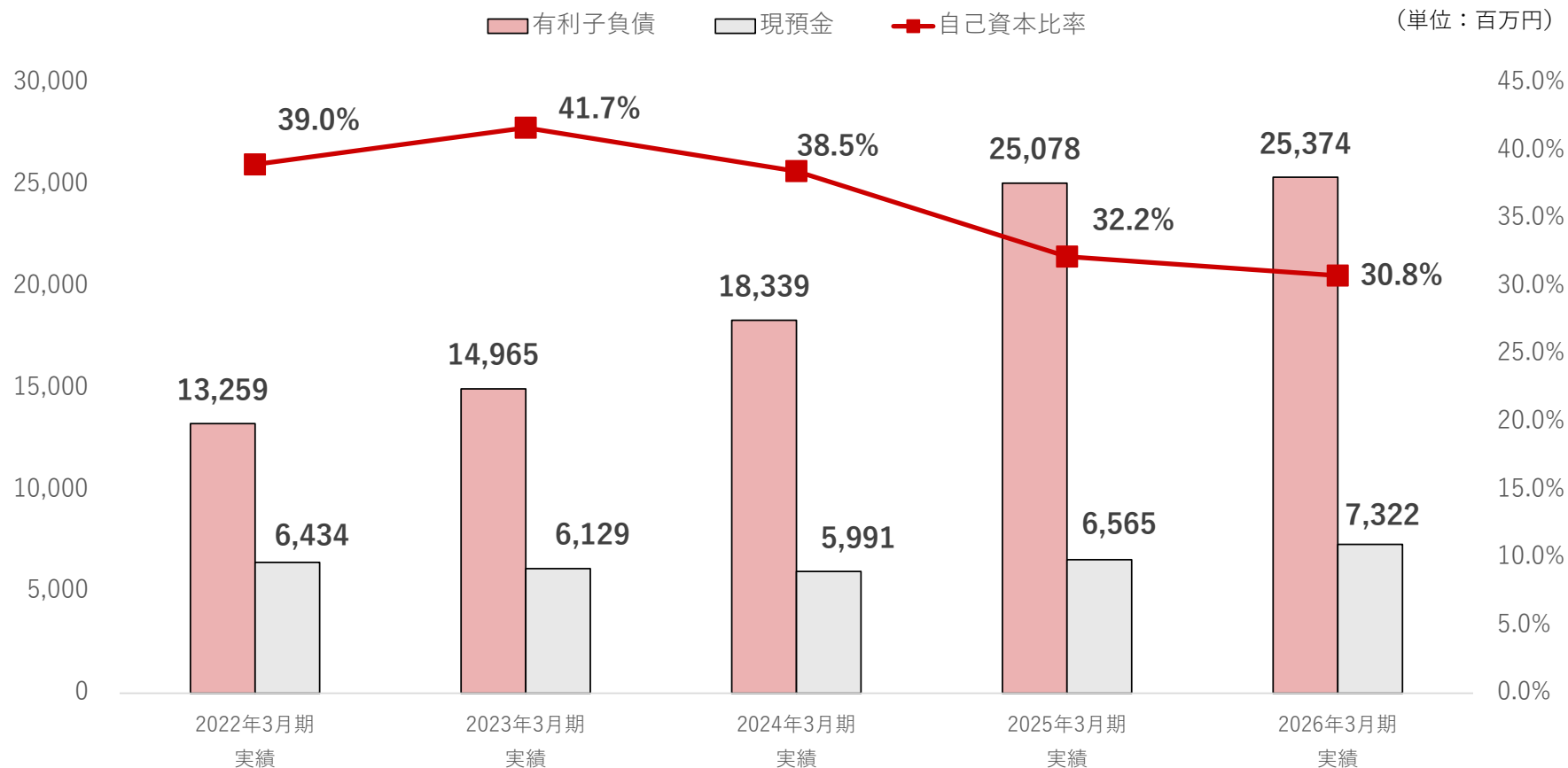
5.連結キャッシュフローの状況

(単位：百万円)



構造改革の継続効果による利益創出に加え、
投資の抑制等によりフリーキャッシュフローは+2,347百万円

6.財務状況



岡山工場及び中国福建工場立ち上げ等の成長投資により増加した有利子負債は、依然として高い水準で推移
自己資本比率については、有利子負債の増加により減少傾向にあるものの、健全性の最低ラインをキープ

7.通期連結業績予想

- 2027年3月期は、電動化事業の確実な成長を見込んでいるものの、海外を中心とした主要客先の減産が更に進むことを想定。
- 利益については、継続的な原価低減の取組みを推進するとともに、付加価値の高い電動化事業の拡大により前期比増益を見込む。

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	51,919	50,000	▲1,919	▲3.7%
営業利益	1,858	2,400	+541	+29.1%
営業利益率(%)	(3.6%)	(4.8%)		
経常利益	1,140	1,600	+459	+40.2%
経常利益率(%)	(2.2%)	(3.2%)		
当期純利益	891	1,000	+108	+12.2%
当期純利益率(%)	(1.7%)	(2.0%)		
一株利益(円)	77.66	87.14	+9.48	-

2027年3月期予想 (円)

為替レート

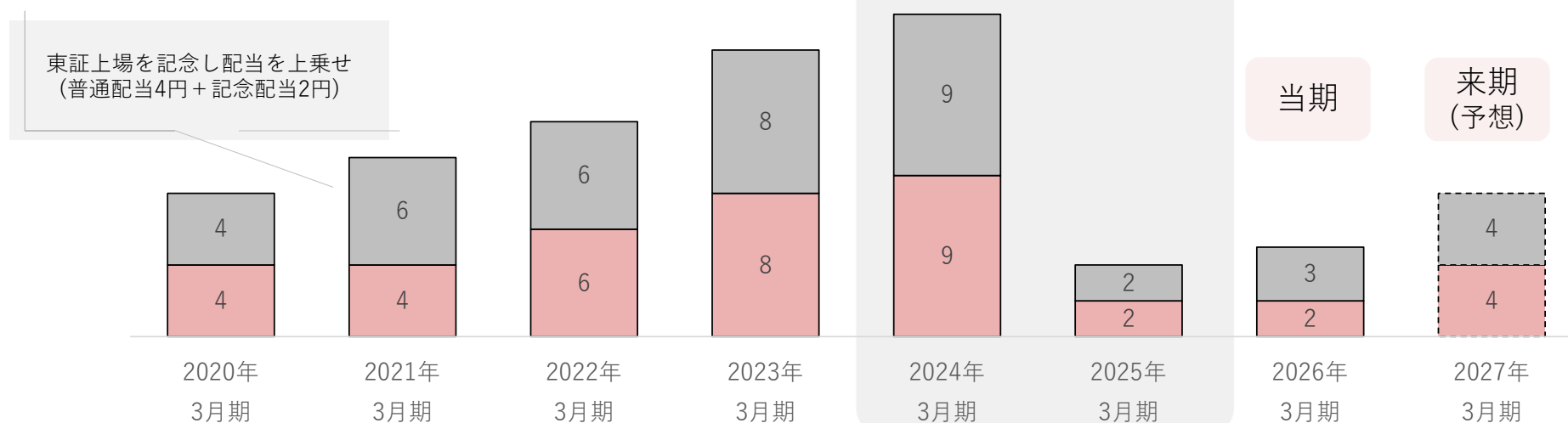
タイバーツ：4.20、人民元：20.00

配当について

当社を取り巻く環境は主要客先の減産が継続している等、依然として厳しい状況が続いており、今後の事業環境の不確実性が増しております。しかしながら、2026年3月期の業績は、成長戦略として掲げてきた電動化事業拡大の効果が徐々に現れ始めており、前年実績及び前回発表予想を上回る結果となったことにより株主還元充実の観点から、当期末の1株当たりの配当金を直近の配当予想から1円増配の3円とさせていただきます。

配当の推移

(単位：円)



2027年3月期は、連結/単体業績・配当方針及び当社を取り巻く環境等を総合的に勘案し、中間配当4円、期末配当4円の年間8円とさせていただきます。

技術で夢を

-Make our dreams by Technology-

▼ WEBSITE

 HP ▶ <https://www.jp-jmax.co.jp>



J-MAXグループ
全体の情報を
網羅的に発信中！

▼ OFFICIAL SNS

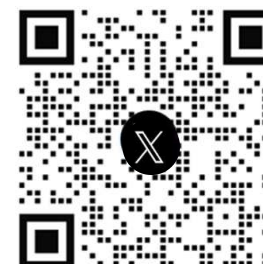
 YouTube ▶ @J-MAX3422



IR情報を中心に
動画で情報発信中！

▼ OFFICIAL SNS

 X(旧Twitter) ▶ @J_MAX3422



最新情報を
写真付きで発信中！

この資料は、株式会社J-MAX（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、将来に関する記述については、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの内容とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。